

## I. 研修について

主として指導医の指導のもとに、放射線医学すなわち画像診断、IVR、放射線治療について、診断、検査、治療の実際を習得する。

画像診断においては、診断レポートを積極的に作成し、その後指導医のチェックを受けることを繰り返す。IVRにおいては適応疾患を学びつつ、実際の手技を指導医のもとに施行し、その結果を追跡し、IVR手技の成績を実体験する。

放射線治療においては、悪性腫瘍性疾患患者の診察所見と検査所見に基づき、病期診断および病態の評価を行い、当該患者の治療全般における放射線治療の意義および適応の有無を判断する。その後指導医のチェックを受け、誤りの修正および知識の整理補充を行う。また、実際に治療計画を行い、放射線治療の実際を体験する。

## II. 研修の到達目標

画像診断においては、各種疾患に対する検査法について正しく理解し、治療に結びつく診断能力を身につけることを最終目標とする。

IVRにおいては、代表疾患に関するIVRの適応範囲を判断し、手技内容・成績・合併症を言える能力を身につけ、基本手技ができるようになる。

放射線治療においては、代表的な疾患の病期診断を習得する。また、各疾患の治療大系の中における放射線治療の位置づけを理解し、実際の症例において放射線治療の適応を判断する思考過程を体験習得する。

## III. 医師数[うち臨床研修指導医講習修了者数] (平成 29 年 3 月現在)

### ▶放射線診断科

・常勤医師 5 名 [1 名]

・非常勤医師 2 名

### ▶放射線治療科

・常勤医師 2 名 [1 名]

## IV. 学会認定医・専門医・指導医(平成 29 年 3 月現在)

### ▶放射線診断科

日本医学放射線学会放射線診断専門医(3 名)

日本 IVR 学会 IVR 専門医(1 名)

日本核医学会核医学専門医(1 名)

日本核医学会PET核医学認定医(1 名)

検診マンモグラフィ読影認定医(3 名)

日本医学放射線学会放射線科専門医(1 名)

### ▶放射線治療科

日本医学放射線学会放射線治療専門医(1 名)

V. 施設認定

日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関

日本IVR学会IVR専門医修練認定施設

